



2019年10月31日

各 位

会社名 カーリットホールディングス株式会社
(URL : <http://www.carlithd.co.jp>)
代表者名 代表取締役社長 廣橋 賢一
(コード番号 4275 東証第一部)
問合せ先 広報部長 澤 幸之
(TEL : 03-6893-7060)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年10月31日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月15日の決算発表時に公表しました2020年3月期通期連結業績予想を以下の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------------------|--------|-------|-------|---------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 54,000 | 2,200 | 2,350 | 1,600 | 67.58 |
| 今回修正予想 (B) | 50,000 | 1,750 | 1,900 | 900 | 38.02 |
| 増減額 (B - A) | △4,000 | △450 | △450 | △700 | |
| 増減率 (%) | △7.4 | △20.5 | △19.1 | △43.8 | |
| (ご参考) 前期連結実績 2019年3月期通期 | 54,049 | 2,328 | 2,551 | 1,579 | 66.70 |

2. 修正の理由

米中貿易摩擦の長期化等に起因する世界経済の不透明な動向が、第2四半期連結累計期間の業績の低迷をもたらしました。

特に、化学品事業部門では電子材料分野が、産業用部材事業部門ではシリコンウェーハとばね・座金製品がこの影響を強く受け、いずれの事業部門も売上高および利益を大きく押し下げられました。

これに加え、ボトリング事業部門において一部の製造ラインに不具合が発生したため当該ラインの稼働を一時的に停止し、全面的なリニューアルを実施いたしました。この稼働停止に伴い、当事業部門は大幅な減収減益となりました。なお、当該製造ラインのリニューアルは現時点ですべて完了しており従前通りの稼働を再開していますが、諸施策の費用等が 2020 年 3 月期通期業績の利益への圧迫要因となる見込みです。

通期の連結業績予想につきまして、第 2 四半期連結累計期間までの業績動向に加え、不透明な世界経済の動向が継続する見込みであることから、売上高および各段階利益ともに公表の予想を下回る見通しとなり、上記の通りの修正に至りました。

なお、当連結業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

2019 年 12 月 9 日に 2020 年 3 月期第 2 四半期決算説明会の開催を予定しております。また、同日に当社ウェブサイト上に決算説明会資料を掲載いたします。

以上

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。